

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）中間評価書

平成 30 年 12 月 20 日

計画の名称	浜見平地区における生活防災拠点としての利便性・安全性の向上(その2)		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	茅ヶ崎市
計画の目標			

浜見平団地の建替に伴い、緑地、道路の整備を行い、生活・防災拠点として安全・安心なまちづくりを行う。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 松尾川の緑道化整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：36.5%→70%） 左富士通り及び鉄砲道の電線地中化及び道路整備に伴う満足度アンケートを通行者に対して実施（満足度：35.4%→70%） 		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
松尾川雨水幹線の暗渠化及び緑道化を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。 アンケートは、安全性・快適性・利便性についての計5項目を1～5の5段階で評価してもらい、下記の指標に基づき評価の平均値を満足度とする。 (1. 満足していない：20%) (2. あまり満足していない：40%) (3. 普通：60%) (4. 満足している：80%) (5. 大変満足している：100%)	36.5%	目標値 50% 現況値 56.5%	70%	
左富士通りの電線地中化および道路整備を行い、通行者に対して整備に関する満足度アンケート調査を行う。 アンケートは、安全性・快適性・利便性についての計5項目を1～5の5段階で評価してもらい、下記の指標に基づき評価の平均値を満足度とする。 (1. 満足していない：20%) (2. あまり満足していない：40%) (3. 普通：60%) (4. 満足している：80%) (5. 大変満足している：100%)	35.4%	目標値 50% 現況値 55.5%	70%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	675,200千円	A	675,200千円	B	0円	C	0円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	----	---	----	------------------------------------	------

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
本事業の所管課である拠点整備課において、事業の数値目標の達成状況や事業効果の発現状況の検証及び要因の分析を実施した。	平成30年11月
	公表の方法
	市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (千円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	住市総	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	浜見平地区住宅市街地総合整備事業	緑道化 819m 電線地下埋設 800m 道路整備 700m	茅ヶ崎市						675,200	
合計												675,200			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別事業ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・浜見平地区の周辺は災害時のクラスター地域となっており、緑道化工事の施工が完了した箇所においては、有事の際に周辺から浜見平地区内への避難も可能となった。 ・商業施設(B R A N C H 2)に隣接する松尾川雨水幹線の整備を行い、子供からお年寄りまで幅広い世代でにぎわい、ゆとりのある歩行空間となっている。 ・鉄砲通りの一部電線類地中化によって、通りの景観の向上が図られ、また通りにおける防災性・安全性の向上が図られた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（松尾川 雨水幹線の整備 満足度の割合）	中間目標値	50.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	商業施設に隣接する箇所の施工が完了し、全体の緑道としての整備が見え始め、地区の住民の生活道路として利用され、にぎわいが創出されているため
		中間実績値	56.5%		
	指標②（電線類 地中化及び道路 整備満足度の割 合）	最終目標値	50.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	左富士通りの電線類地中化工事の完了に加え、道路整備工事が実施されUR都市機構の整備したプロムナードと一帯となり、広々とした歩行空間が確保されたため。
		最終実績値	55.5%		
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項（今後の方針等）

今後は、浜見平地区まちづくり計画及び第2次浜見平地区まちづくり整備実施計画に基づき、URによる浜見平団建替事業のスケジュールを勘案しつつ、松尾川雨水幹線の緑道化、電線類地中化及び道路整備を適宜実施していく。